

期待高まる

MPS

③

花き生産者の最重要課題となっているコスト低減で最も重要なことは、生産経費の数値化と検証である。しかし、これができるに生産者は皆無に等しい。

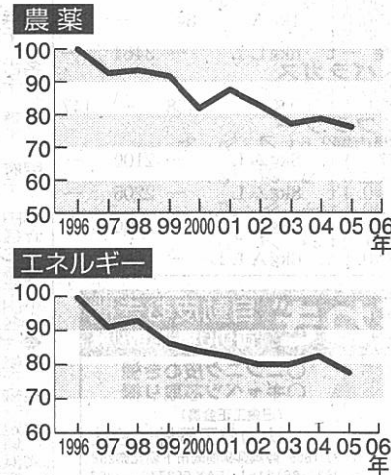
例えばシクラメン鉢物では、種苗、培養土、肥料、農薬、重油などの年間経費を把握する生産者

はいるものの、あらためて1鉢当たり経費として、ましてや月単位で認識できる生産者はなかなかいない。これは、数値

に対する認識度と関係しており、井勘定している生産者の意識では、コストの低減は極めて難しい。生産過程の認証となるMPS・ABCは、農薬、肥料、エネルギーなどの使用履歴を4週ごとにチェックして記帳、登録する制度である。

同認証に参加している生産者から最も多く聞かれるのは「毎週あるいは毎月、農薬、肥料、エネルギーなどを記帳している

オランダの過去10年間の使用量の変化(1996年を100とした場合)



てチェックできる。コスト削減に対する意識が新たになり、経営改善に前向きに取り組むことができる。

10年以上前から同認証を導入しているオランダの事例では、参加者の農薬使用量やエネルギー使用量が、導入から10年間でそれぞれ20%以上減少しているという。

同認証への参加は、生産費上昇と販売価格の低迷にあえぐ花き生産者の経営の改善に、大きく寄与すると確信している。

(岐阜大学応用生物科学部教授・福井博一)

コスト意識

数値化と検証を必ず